

第一部



講演 避難所の感染症を防ぐために



プロフィール

1984年花王(株)化学品研究所入社。
身体洗浄剤はじめ、業務用薬剤などの
基礎技術と商品開発を担当。
その後、病院内感染制御、食品衛生に
関わる業務を担い、現在は食品衛生、
ヘルスケア、感染制御に関わる普及啓蒙活動
を行っている。

講師： 花王プロフェッショナルサービス株式会社
日置 祐一氏 学術部 兼) C&S企画開発部統括部長



災害時一番必要とされる備品とは？



断水時のトイレ利用の工夫や
感染を広げないためには...

※セミナー内容は、変更になる場合もございます。

第二部

TOTO

■熊本現場レポート

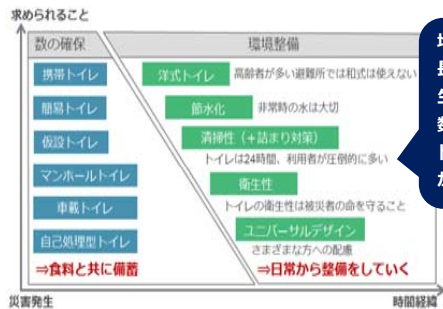
県内4自治体11施設でのヒアリングを行いました。
熊本市総合体育館・益城町総合運動公園などの総合
体育館の避難状況・管理の声・利用者の声など
詳細にご報告。

■内閣府発信ガイドライン《整備ポイント》 ご紹介と今後の環境整備のポイントご提案

ホテルや道の駅、庁舎など多くの施設が避難場所。
既設トイレの緊急時対応方法、
これからの整備ポイントをご紹介します。

■災害時利用を想定した商品のご紹介

出典：内閣府「避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン」（平成28年4月）



写真：熊本市総合体育館



FAXにてお申込みください FAX：092-272-1350

■開催場所

TOTO(株)九州支社 会議室A・B
キャナルシティ・ビジネスセンタービル 4F

■交通のご案内

地下鉄 中州川端駅5番出口より 徒歩15分
JR 博多駅博多口より 徒歩15分
西鉄バス キャナルシティ博多前より徒歩5分

■住所：福岡県福岡市博多区住吉1-2-25

■TEL：092-272-1085 担当：重留（しげとめ）



お申込書（定員50名様）

※先着申し込み順

開催日	7月7日（金）15：00～17：00		
貴社名			
ご所属			
ご氏名	※お申込者複数の場合は、必ず全員のご氏名を記入下さい。		
TEL		FAX	
参加人数 計（ ）名			

ご注意事項

- お申し込みは先着順とさせていただきます。
- 駐車場のご用意はございません。公共交通機関をご利用ください。
- ご記入いただいた個人情報はお申込みにする連絡の目的に使用いたします。
- お客様の個人情報は、当社で責任をもって管理致します。
- 個人情報の取り扱いに関する詳細は、弊社ホームページ（<http://www.toto.co.jp/>）掲載のプライバシーポリシーをご覧ください。
- ご承諾のうえ、お申し込みをお願いいたします。
- ご記入いただいた個人情報を、ご同意がある場合に限り、当社は、花王プロフェッショナルサービス株式会社へ提供します。その提供先会社は、提供を受けた個人情報、業務品事業における商品・サービスの販売促進に利用します。ご記入いただいた個人情報の花王プロフェッショナルサービス株式会社への提供について、ご同意いただけるかを
お知らせください（下のどちらかに丸印などを付けてください）。
- ☐ 同意する ☐ 同意しない

COM-ET

災害対策 セミナー

～避難所における水まわり～

長期化する 避難生活の備えとは？

東日本大震災、熊本震災ではTOTO・花王それぞれが現地に
出向き様々な状況を目にしてきました。
そこで衛生設備機器メーカーと洗浄剤メーカーで協力し、自分たちで
出来ることはないか、協力しお役立て頂けることはないかを考え、
災害時に一番役立つもの、長期にわたる避難生活で役立ったもの
など《災害》をテーマとした《水まわりに関する情報》を纏めましたので
ご紹介させて頂きます。今後いつ発生するかわからない災害。
皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時

2017.7.7 (FRI)
15:00-17:00

場所

TOTO株式会社
九州支社 キャナルシティ
ビジネスセンタービル 4F
会議室A・B

基調
講演

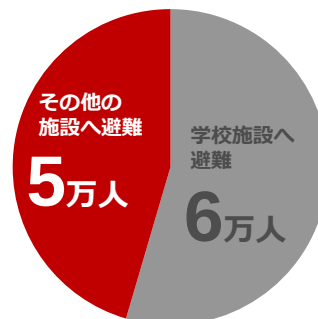
花王プロフェッショナルサービス株式会社
学術部 兼) C&S企画開発部統括部長
日置 祐一氏

要予約 50名限定

参加費：無料 CPD登録申請中
定員になり次第締め切らせていただきます



避難所となった施設利用の実態（熊本市）



総合体育館・宿泊施設・道の駅・病院・福祉施設
神社・仏閣・企業施設（工場などの受け入れ）・公園
商業施設（ショッピングセンター等）・庁舎・公民館 etc

避難所指定の学校以外にも
多くの施設が避難所になった！

出典：「熊本地震の被害を踏まえた学校施設の整備について緊急提言（平成28年7月）」



《 災害時、一番必要とされるメンテナンスについて 》



震災時の実体験を元に感染管理のノウハウをご紹介

備蓄について

震災後の備蓄品にない新たに必要と思われる備蓄品

- ・簡約
- ・食缶
- ・ビッチャー
- ・調味料（塩・砂糖・だし）
- ・ラップ
- ・缶切り
- ・紙コップ
- ・キッチンペーパー
- ・ガス釜
- ・ガスボンベ
- ・人数分のペットボトル
- （各家庭専用のボトルとするため）
- ・野外テント（ブルーシート倉）

感染対策上必要な備蓄品

- ・手洗い剤
- ・アルコール製剤
- ・清拭ペーパー
- ・次亜塩素酸
- ・ウェットティッシュ
- ・ハンドクリーム
- ・柔軟剤
- ・温度計

掲示ポスター例

使用禁止

トイレ

×使用禁止

「用したペーパー類は便器内に捨ててください」

使用禁止

水道

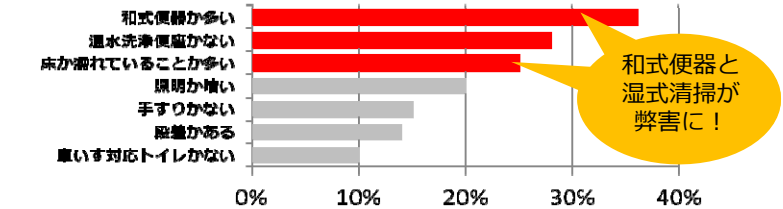
立ち入り禁止

廃棄物管理場所



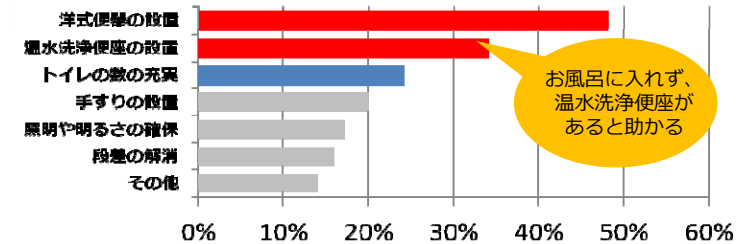
避難所生活されている方101人に聞きました！

Q1：避難所の常設（建物内に設置されている）トイレをお使いになって、あなたが**設備面**でお困りになったことは？



避難所の声 「洋式を選んでいっている」「洋式が遠かった」「清掃後濡れている」「子どもがすべる」「オムツが詰まっていた（2回もあった）」など

Q2：避難所の常設（建物内に設置されている）トイレをお使いになって、あなたが**設備面**で**充実**や**配慮**して欲しいことは？



避難所の声 「男子トイレは全部洋式にして欲しい。少ない」「広いトイレを」「病気や風呂に入れないときに温水洗浄便座が欲しい」など

学校トイレは、ほとんど和式便器だらけ！

避難者に大人気の温水洗浄便座付きの多目的トイレ



どこに行っても聞かれた和式 便器と湿式清掃による弊害

同じ熊本県内でもインフラの被害状況は各地様々でした。しかし共通してどこに行っても聞かれたのが、和式便器による弊害でした。被災直後はどこに行っても洋式トイレに、長蛇の列という状態。特に、避難者の多数を占める高齢者には和式トイレが使えない方が多く大変苦慮されていました。このことは、上記アンケート結果に如実に現れています。床が濡れていることによる衛生性やすべりの問題も多く聞かれました。老朽化した学校トイレはほとんどが和式便器で、一部の和式便器に洋式便器をかぶせて対応している現場も多々散見されましたが、大変狭い場合が多く、中には便器にドアが当たってしまい、一旦中に入って体をずらして座らなくてはならない現場もありました。そんな中で、温水洗浄便座付きの多目的トイレは避難者の方に大人気で、プライバシー空間のない避難所の中で、唯一ひとりでホッとできる場となっていました。やはり、学校の常設トイレの洋式化と乾式化が、まずは急務であることが確認されました。また、どうしても詰まりが頻発することから、洋式化の際、便器は掃除口付タイプにしておくことが大変助かるといえます。

高齢者が使えない！ 最大の問題は和式便器
改善要望の第1位は洋式化で、便器数確保を上回る